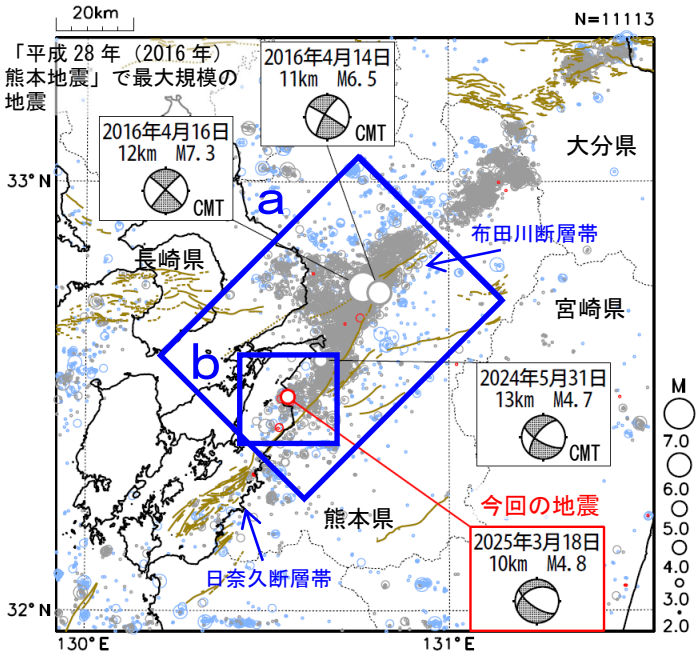
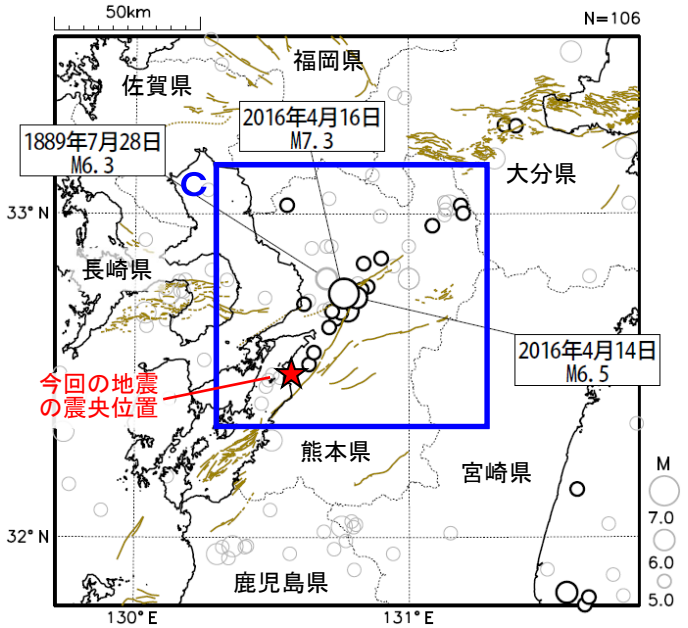
３月 18 日　熊本県熊本地方の地震

情報発表に用いた震央地名は〔熊本県天草・芦北地方〕である。

震央分布図
（2000 年 10 月 1 日～2025 年３月 31 日、
深さ０～20km、M≧2.0）
2016 年４月 14 日 21 時より前に発生した地震を薄青色○、
2016 年４月 14 日 21 時以降に発生した地震を灰色○、
2025 年３月に発生した地震を赤色○で表示



震央分布図
（1885 年１月１日～2025 年３月 31 日、
深さ０～50km、M≧5.0）
2016 年４月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○、
2016 年４月 14 日 21 時以降に発生した地震を黒色○で表示



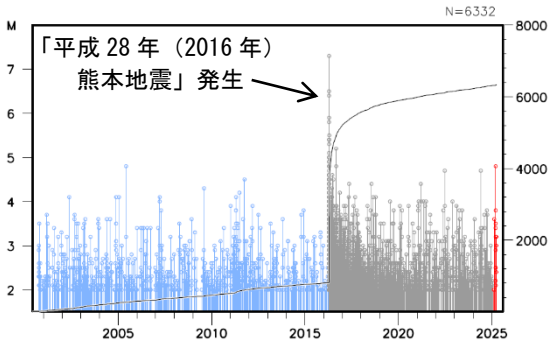
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す
（震源要素は、1885 年～1918 年は茅野・宇津
（2001）、宇津（1982, 1985）による※）

2025年３月18日05時00分に熊本県熊本地方の深さ10kmでM4.8の地震（最大震度４）が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ型である。

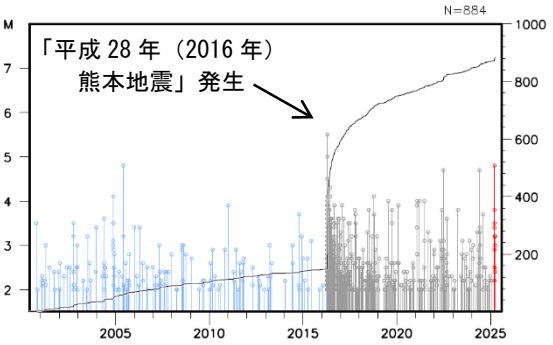
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域ａ）では「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。この地震により、熊本県で死者273人、大分県で死者３人などの被害が生じた（熊本県は2024年12月13日現在、熊本県による、その他は2019年４月12日現在、総務省消防庁による）。また、最近の領域ｂ内の活動では、2024年５月31日にM4.7の地震（深さ13km、最大震度４）が発生している。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、1889年７月28日にはM6.3の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

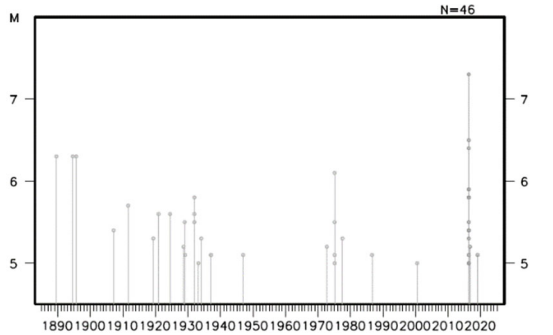
領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｃ内のＭ－Ｔ図



※宇津徳治（1982）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年, 震研彙報, 56, 401-463.
宇津徳治（1985）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年（訂正と追加）, 震研彙報, 60, 639-642.
茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表,「地震の事典」第２版, 朝倉書店, 657pp.